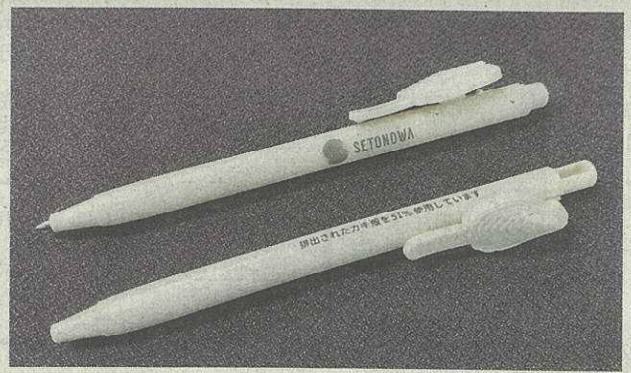
地方経済

カキ殻ボールペン開発

山陽クレー工業「せとのわ」が支援



せとのわの支援で山陽クレー工業が開発したボールペン

中国銀行（岡山市北区丸の内）、山陽新聞社（同柳町）、天満屋（同表町）など5社でつくる地域商社「せとのわ」（同本町）は24日、地場企業の新商品開発支援の一環として、カキ殻の粉末をホルダーに使ったボールペンを発表した。工業原料製造の山陽クレー工業（備前市吉永町南方）が開発した。同行などが業務で活用する。

岡山県などで養殖されているカキ殻を、同社が粉末状に加工。せとのわが仲介した大阪府のプラスチック加工会社がプラスチックとまぜて、ボールペンを作った。ホルダーにカキ殻を51％使用している旨の文言を入れ、クリップにはカキ殻をデザインしている。

せとのわなどによると、カキ殻は農業飼料などに活用されるケースがあるが、多くは廃棄物として処分されている。山陽クレー工業は天然鉱石「ろう石」を砕いて工業原料のクレーを生産しており、カキ殻でも使えるように装置を改良した。

ボールペンは2650本作り、せとのわに参加する企業などが山陽クレー工業から購入した。当面販売はせず、それぞれ営業用に配布するなどしてリサイクルをPRする。中国銀行は12月上旬から一部店舗の窓口に置き、来店者が書類に記入する際に使ってもらう。

山陽クレー工業の瀧本弘治社長は「捨てられていたカキ殻を有効利用できる。ボールペンのほかにも新たな商品を模索したい」と話す。25日に発足1年を迎えるせとのわは「国連が提唱するSDGs（持続可能な開発目標）を進めるためにもカキ殻が商品になることを知ってもらいたい。今後も地域資源を生かした商品開発をサポートしていく」としている。

（小川正貴）

第三者割当増資6.7億円

オーディオストック 海外事業強化図る

音源販売サイト運営のオーディオストック（岡山市北区富田町）は24日、投資会社などを引受先とする第三者割当増資によって総額6億7480万円を調達したと発表した。現在は売上高比率が数％にとどまる海外事業の強化などに活用する。

出資したのは、米投資会社サスケハナ・インターナショナル・グループを筆頭に、投資事業などを手掛けるセレス（東京）、中国銀行グループなど6社・グループ。出資額の内訳は公表していない。調達した資金は、国内外のユーザー獲得のための広告宣伝やシステム開発、海外からの評価が高い和楽器を使った自社コンテンツの制作などに活用する。

同社は自社サイトを通じてクリエーターが手掛けた楽曲の使用権を販売する事業を展開する。新型コロナウイルス禍による巣ごもり需要などで動画市場が拡大し、音源の利用ニーズが高まっているといい、ユーザーは9月末時点で約10万3300アカウント。クリエーターへの年間分配額は昨年初めて1億円を突破し、約1億2500万円となった。

西尾周一郎社長は「海外での市場拡大は大きな挑戦。採算モデルを確立していきたい」と話している。

（河内慎太郎）

足守支店を稲荷に統合

来年3月、中銀

中国銀行は24日、足守支店（岡山市北区足守

ひと 交差点

健康増進できる商店街に

「次世代につなげられるような事業を行っていきたい」と話すのは、岡山市栄町商店街の黒田浩一代表理事(63)。呉服店の福岡屋（同市北区表町）を経営しつつ、楽しみながら健康増進ができる商店街づくりに取り組む。

岡山市民の健康寿命が全国平均より短いことに着目した。元陸上選手を招いたウオーキング食材料理の唤起策の一環住のアドアーていくめていく

6月の会長合会が出しイルスが、一

すわき後楽 中華そば
創業57年
懐かしさもあり 新しさもある
うまみ醤油ラーメン
販売店舗
岡山高島屋店
下中野店 麻瀬店
藤田店 吉備路店
高梁店 山陽店
邑久店 町河田店

ネットワ
◇横浜を
・みなとみら

ikajuM

洋服の型紙を作製するｉｋａｊｕＭ（イカジャム、倉敷市島味野）は、オリジナルの服販売する会員制ブランドを立ち上げた。開発費などの一部会費で賄い、受注生産により

会員制ブランド「ｏｌｄ ｎｏｔｅ」のジーンズとジャケット

開発費一部

の高い商品を手頃な価格で提供しようと企画した。インスタグラムでは製作の苦労なども公開するので、商品の背景にあるストーリーも楽しんでほしい」と話している。

同社は2016年設立、資本金100万円、従業員2人、売上高は非公表。